

平成24年第5回定例教育委員会

平成24年5月25日(金) 午後2時

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川 清 明	説明員	教育部長	佐藤 哲 司
	委員	相馬 範 子		教育部次長	後藤 好 人
	委員	上野 聡 志		学校教育支援室長	
	委員	郷 早 見			苅谷 正彦
	教育長	月田 健 二		総務課長	木村 藤彦
				総務課参事	三富 一義
				学校教育課長	伊藤 忠 信
				学校教育支援室参事	
					西田 昌平
					園部 真幸
		生涯学習課長	小林 則幸		
		生涯学習課主幹	永嶋 満二		
		情報図書館長	大村 勇彦		
		郷土資料館長	斉藤 俊彦		
		欠席者	給食センター長	福井 洋人	
		記録員	総務課総務係長	近藤 澄	
		傍聴者	2名		

1 報告事項

- (1) 市内小中学校校舎屋体の耐震化について
- (2) 平成23年度学校評価の結果報告について
- (3) 角山中学校の統廃合について
- (4) 平成23年度財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告について

2 審議事項

平成24年議案第20号

江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について

平成24年議案第21号

江別市奨学審議委員会委員の補欠委員の委嘱について

平成24年議案第22号

江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の補欠委員の委嘱について

平成24年議案第23号

江別市就学指導委員会委員の補欠委員の委嘱について

平成24年議案第24号

江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱について

平成24年議案第25号

江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱について

平成24年議案第26号

江別市一般会計補正予算(第1号)について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成24年第6回定例教育委員会の日程について

会 議 録

<p>長谷川委員長</p>	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから平成24年第5回定例教育委員会を開会いたします。本日の議事日程は配付のとおりであります。会議に先立ち、本日の会議録署名人を上野委員さんをお願いいたします。それでは議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)市内小中学校校舎屋体の耐震化についての報告を求めます。三富参事をお願いします。</p>
<p>三富総務課参事</p>	<p>私から、市内小中学校校舎屋体の耐震化についてご説明いたします。資料の1ページ、未耐震学校の耐震化計画をお開きください。現在、耐震化を終えていない学校は8校ありますが、記載順にご説明させていただきます。</p> <p>まず、江別第二小学校ですが、資料の2ページ、小中学校施設整備計画をお開きください。レンガ造校舎以外の棟は、既に耐震補強工事を終えており、今年度は残るレンガ造校舎部分について、学校、PTA等の関係者の意見を参考にし、改築基本設計及び実施設計を進めてまいります。平成25年度には建設工事、平成26年度には外構工事を予定しています。</p> <p>次に大麻小学校ですが、資料の1ページをお開きください。大麻小学校のレンガ造の校舎は、現在も季節の物品の保管や業務主事の作業場として使用していますが、少しずつ整理を進めているところであります。しかし、放置しておくことは危険であることから、平成25年度に解体してまいりたいと考えています。</p> <p>次に角山小学校ですが、角山小学校については江別市学校適正配置基本計画における統合対象校であり、現在慎重に協議を進めているところであります。</p> <p>次に江別太小学校ですが、資料の2ページをお開きください。江別太小学校は、耐震性や木杭の健全性から全面改築を予定しており、今年度は理想的な学校について、学校、PTA、地域自治会等の関係者の意見を参考にし、改築基本設計を進めてまいります。平成25年度には実施設計、平成26年度には建設工事、平成27年度には外構工事を予定しています。</p> <p>次に江別第一中学校ですが、江別第一中学校はレンガ造校舎の耐震性から校舎の改築を予定していますが、今年度は江別太小学校同様に、理想的な学校について、学校、PTA、地域自治会等の関係者の意見を参考にし、改築基本設計を進めてまいります。平成25年度には実施設計、平成26年度には建設工事、平成27年度には外構工事を予定しています。</p> <p>次に角山中学校ですが、今年度は、屋内体育館の耐震補強工事を夏休み期間に実施する予定であります。この補強により耐震化率は83%ほどになります。</p> <p>次に江別小学校・江別第三小学校ですが、現在統合委員会により、統合の場所、校名、時期などが協議されておりますので、動向を見守りつつ、慎重に進めてまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>ただいま報告のありました市内小中学校校舎屋体の耐震化について、質問等がございましたらお受けします。</p>
<p>相馬委員</p>	<p>私どもは、江別太小学校とか第一中学校とか第二小学校、もちろん角山小中学校のこと、江小・三小の統合などはよく分かっているんですけど、やはり耐震ということ考えると、江別の小中学校の老朽化は明らかだと思います。江別太小学校の視察に行った時は、本当にクラクラするような状態があったりとか、カビとかいろいろな問題があった。耐震化計画の中で、具体的に年度ごとに記載されていると、こういうことが始まるというのが分かるのですごく良いことじゃないかと思っています。あと、大麻小学校のレンガ校舎は何年も前からいろいろ言っていたんですが、来年度に解体撤去ということで非常に安心しました。あと、昨日、千歳市、恵庭市、北広島市へ視察に行って、新築の学校を見て、嫉妬とうらやましいという思い、こういう学校ができたらいいなと思いました。洒落た素敵な校舎で、私もうっとりしましたが、そういうものも参考にしながら、小中学校施設整備計画に則って進めていってほしいと思っています。</p>
<p>長谷川委員長 上野委員</p>	<p>ほかにごいませんか。</p> <p>質問ではないんですけど、視察でいろいろと良い面、悪い面を聞いてきましたので、その部分を含めた形で設計の段階で取り入れて、良い学校ができるようにしていただきたい</p>

上野委員	<p>と思っています。先ほど、相馬委員さんが大麻小学校のレンガ校舎のことを話していましたが、私がPTA会長最後の時に、是非、学童保育とか児童館で使えないかということのを要望させていただいたんですが、お金もないというような状況で、ちょうど特別支援学級も始まったという時期でもありました。ネズミが出るだとか聞いていたんですが、解体されるとなると、私が通っていた時に使っていた所なので、非常に寂しい思いがしますが仕方がないと思っています。以上です。</p>
長谷川委員長 相馬委員	<p>ほかにございませんか。</p>
	<p>きれいごとを言わないで、はっきり言わせていただくんですが、やはり60年とか半世紀ということで、学校建設の計画を決めている以上は、昨日も学校視察でお伺いしたんですけれども、やっぱりお金なんですよ。昨日視察した三校は全校、防衛施設庁の予算付けがありました。江別市はない。ですから、みなさんがあれもしてくれ、これもしてくれって言うのはいいんですけれども、結局お金がないと何もできないですよ。だから、きれいごととはもう止めて、どこで予算を付けてもらうかなんです。だから、予算を調達してくるぐらいの勢いをお願いしたいぐらいなんです。すみません。予算があってこそ、良いものができる。予算が無ければ、いくらいろいろなものと言ったって、それは絵に描いた餅にすぎない。お金っていう言葉を出すと、みんな嫌がるんですけれども、現実予算がないと何もできないですよ。例えば、耐震化とか環境とかですね。口で言うのは簡単ですが、みんなで学校を造っていくという形にしていけないと、半世紀に一度のことですから、しっかり考えていただきたいと思います。</p>
佐藤教育部長	<p>私から資金的なことを含めて、ご説明させていただこうと思います。新しく建て直す、改築という言葉を使っていますけれども、新しく建て直すやり方にも、いろいろありまして、いわゆる耐震化という方のコースもあれば、統合によるコースもあるわけです。それぞれ、様々な条件から、3分の1だったり、2分の1だったり国庫の負担率が違いますし、起債、つまり市債につきましても、率の違いということが出てくるわけです。</p>
	<p>ただいま、あたかも決まったかのように聞こえたかもしれませんが、このレンガ造の耐震診断したことについて、すべてこの計画で文部科学省がはい、分かりましたという段階に至っているかと言うと、そういうことを説明しているわけではありません。これは前倒ししていますから、物凄く厳しいんですけれども、市としての希望を述べているのであります。そうではなくて、確定しているものは角山中学校の体育館でございまして、これは国の三次前倒しに伴いまして、3月定例会初日に可決していただき、繰越明許で今年度に突入し、夏休みに工事をすることになっています。ほかのことは、例えば補強によるのが困難であるとか、いろいろな条件を満たしませんと、この通りにはなっていないわけです。そういう制約はあるんですが、待っていると進みませんので、昨日も視察いただいた他の市と同様に、地域自治会の代表者や保護者、それから学校の先生方に入っただいて、その関係者による協議の場を私どもも設けていくと。そこで関係者から十分に意見を聞いて、様々な在り方の基本構想を作っていく段階にあると、こうご理解いただきたいと思います。その中に、当然エコスクールですとか、ゼロエネルギーということも国交省も打ち出しているわけなんですけれども、オープンスクールが良いのかとか、ICTをどうするんだとか、そもそもこの動きのきっかけとなった安心・安全の耐震はどうなのかとか、あるいは非構造部材にも及んでいる今の国の方針にどこまで合わせていけるのかとか、それからシックスクール対策もあります。ただ、市営住宅でもそうですが、シックスクール対策は万全を期していくので常識ですが、様々なことについてご意見をいただいていたという段階でございます。したがって、もしかしたら、資金面でも、我々の期待通りになるかどうか、現時点で保障できるわけではありません。ただし、昨年、私は直接文部科学省に行ってお願いをしてきた経過からすれば、私どものほぼ希望通りの展開をするのではないかと考えています。少し長い話で申し訳ありませんが、そういう状況でございます。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
伊藤学校教育課長	<p>次に、報告事項(2)平成23年度学校評価の結果報告についての報告を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p> <p>江別市立学校管理規則第10条の規定に基づき実施しております平成23年度学校評価の結果がまとまりましたので、報告いたします。</p>

伊藤学校教育課長	<p>学校評価は、学校において自己評価を実施した後、学校評議員や地域の自治会役員、PTA役員などの学校関係者評価委員会が外部評価を実施し、その結果を学校評価としてまとめております。</p> <p>今年度の学校評価の概要であります。2ページをお開きください。このページの表は、各学校から提出のあった自己評価書に記載された評価分野数、評価項目数、自己評価の達成状況、学校関係者による評価による評価の状況を一覧表にしたものであります。</p> <p>その説明を3ページ目以降に記載しております。3ページをご覧ください。1. 評価分野数及び項目数であります。江別市では、当初より経営方針の重点、教育課程・学習指導、生徒指導の3分野を必須として、さらに各学校独自の分野を加え、全部で4分野から6分野で評価を行うようにしています。また、各分野での評価項目数につきましては適宜としております。評価分野数及び項目数については、小学校では昨年度と同様の傾向であります。中学校では、評価分野数の見直し等により減少しておりますが、項目数については昨年度と同様でございます。</p> <p>次に、2の自由選択した評価分野についてですが、指定した3分野以外で、各学校が自由選択した評価分野の主なものは、保護者・地域との連携、健康安全指導など、昨年度と同様の傾向であります。3. 自己評価状況については、円グラフのとおりであります。小学校では昨年度と同様の結果であります。中学校では昨年度よりよいというA評価が3%減少、ややよくないというC評価が4%からゼロになっております。その分、B評価が7%増加しております。なお、D評価は、小学校・中学校ともにありませんでした。</p> <p>4ページをお開きください。4. 自己評価書作成に係る評価会議についてであります。開催回数は5回という学校もありますが、おおむね3回から4回開催する学校が多いところです。これは、学校関係者評価が実施され3年経過してきましたが、学校関係者評価の導入当初と比較すると会議が増えておりますが、おおむね3回から4回の実施が定着してきております。</p> <p>5の学校関係者評価についてですが、その結果は、棒グラフにありますとおり、小学校では、自己評価の適切さ・改善策の適切さについては、よいというA評価の割合がそれぞれ77%と88%で、評価の適切さがよいというA評価の割合が昨年度より9%減少しております。また、中学校においてもA評価がともに75%と83%となっており、昨年度より若干減少しております。自己評価での適切さのD評価、改善策の適切さのC評価及びD評価は、小学校・中学校ともにありませんでした。</p> <p>5ページをご覧ください。学校評議員から、評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する意見をもらい、評価書に付記しております。意見総数は141件で、内訳は小学校81件、中学校59件、角山小中学校1件でした。意見を大別して、内部評価の項目設定、評価の全般に対するものをA分類、分社に関わる改善方策や日頃感じていることなどをB分類にしますと、A分類は28件、B分類は113件でした。そのうちの主な意見を5ページから7ページにわたって記載してあります。</p> <p>A分類では、学校での取り組みに関するをもっと情報発信すると評価が上がるのではないかなどの意見がありました。また、B分類では、地域と学校とのつながりは、体験学習を通して食と農への結び付き、いずれ子どもたちが大人になった時に大きな力となることを確信していますなどの意見がありました。詳細は記載のとおりですので、後ほどご覧いただきたいと思っております。</p> <p>なお、別冊で学校ごとの自己評価及び関係者評価書を添付しておりますので、ご参照願います。以上でご報告を終わります。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました平成23年度学校評価の結果報告について、質問等がございましたらお受けします。</p>
相馬委員	<p>学校関係者評価は、非常に細やかで、気が付いたことをすごく書いてあるので、私も非常に参考になるんですね。元気のよい姿が見られるが、一方では機械的なあいさつも見受けられるとか、細かくきちんとした評価をされていると思うんですね。ただ、また皮肉くれて言うてしまうんですが、Dがないということはあるのかなと。</p>
上野委員	<p>A、Bで付けられているものを、外部評価でCとかDというのはなかなか付けづらいですよ。校長先生の最終的な判断、評価に対して、C、Dを付けるとなると、校長先生の評価を覆してしまうということになる。かと言って、C、Dが付くかということ、そういう感じはない。そこはやっぱり難しいところで、何回も言っているけれども、いざ付けるとな</p>

上野委員	ると、付けづらいですね。あと、評価項目に対しての意見かという、そうでない意見もある。それは学校生活の部分を見た中での率直な意見だと思うので、それは各学校においてこういうところが評価されているし、こういう部分が駄目なんだということで改善していけばいいのかなと思います。
相馬委員	評価項目の学校関係の評価意見は、非常に緻密で私もすごい参考になっている。ただ、C、Dがないのはどうしてなのかなと思ってね。
上野委員	365日、ずっと学校にいるわけではないから、なかなか悪い部分というのは見えてこないと思う。外部の人が行ったら、先生方も良く見せようとするし、これは人間であればあると思うので。そして、普段行かないのに評価してと言っても、なかなか評価しづらいというのが毎回言っている意見です。
郷委員	評価の内容も、前もって分からない部分もありますよね。今日の会議は評価委員会なのでということで資料をいきなり渡されて、学校経営とかを聞いてどうでしょうかという話も多いらしいです。学校見学に1年に1回か2回行くと思うんですよね。その時にこういう項目が問われているんですということが前もって分かって見学するのと、会議がありますって行ってから、蓋を開けているいろいろな説明を聞くのとは違いますよね。子どもたちの様子は、通学の雰囲気で見ると分かりますが、授業している先生の指導の部分に入ると評価が難しいのかなという感じはします。
上野委員	学校評議員と評価委員は、似たようで違うのか、たぶん同じような役割だと思うんですけども、年に3回ぐらい、今回は資料を見たら5回やっているところもある。始まるたびに、今年度の運営目標とかを聞かされて、途中で1回あって、最後の方に評価ということになると思うんですけども、今年度の目標で1年間やりたいというときに、一緒に評価項目を提示されると、次回見学に行ったときにきちんと見て歩くということができるとかなと感じます。
郷委員	でも、それぞれの学校に任せている部分もあると思うんですよね。回数もさることながら、まとめ方も各学校でそれぞれなので。
上野委員	前にも言ったけれども、学校によって項目が違うというのがあって、各学校で対比できるものでもないと思うし、非常に難しい部分がある。でも、意見としては良い意見が多い。開かれた学校ということで、地域交流、地域との一体感ということで、こういう授業を実施してみるとか、教師は尊敬され信用されなければならないという意見もあれば、母親を再教育しないとイケないとか。母親といえば、父親もそうだが、最近変わった親が増えていて、私も毎回言っているように、そういう親には子どもと一緒に道徳教育を再教育させるのもいいなと思っているけれども、それはなかなか難しい。相馬委員さんが言うように良い意見がある。
相馬委員	あと二学期制の問題で、こうすぐに決めないで、もっといろいろな方の意見を聞いて、再度構築しましょうと言ってしまったが、見てみると二学期制賛成が多いんですね。物凄く安心しました。
上野委員	もともと二学期制に対しておおむね理解できた人が多かったもので、中にはもう少し説明してほしいなっていうのもあったんですけども。あとは、二学期制にしてどうでしたかというアンケートを取ってみるのも、一つの方法なのかなと思います。当初始まる前は、たまに各家庭にピラが入ってきて、反対しているのが4割もいると書かれていた。
相馬委員	あと、フレッシュタイムの充実なんですけど、フレッシュタイムについてもう一回解説というか教えていただけませんか。横文字が苦手なものですから。
伊藤学校教育課長	各学校で独自に定めているんですけども、朝の始業時前に設定している学校もあるでしょうし、中休みなり昼休みに設定している学校もあると思いますけれども、一斉に運動したり、ドリルをやったりしています。それは各学校において、体力重視、学力重視など、いろいろな取り組みの中で有効に時間を使って行っているものであります。
相馬委員	分かりました。
長谷川委員長	全体の中で、教育長は何かございませんか。
月田教育長	よろしいです。
長谷川委員長	それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)
	次に、報告事項(3)角山中学校の統廃合についての報告を求めます。園部参事お願いします。

園部学校教育 支援室参事	<p>報告事項（３）角山中学校の統廃合につきましてご説明いたします。江別市学校適正配置基本計画に基づく角山小中学校の統合につきましては、平成２０年８月より地元と協議を開始し、同年１１月には地域協議会を設置し協議を行ってまいりましたが、２１年４月に協議会代表が来庁し、地域の総意で角山小中学校存続協議会を設立したため、地域協議会を解散した旨が伝えられたことから、統合に関する地元との協議を停止していたものでございます。</p>
長谷川委員長	<p>その後、存続協議会とは年２回ほど意見交換の機会をもってきたところではありますが、本年５月９日にＰＴＡ及び存続協議会の代表者が来庁し、角山中学校の統廃合について要望を受けるとともに、後日要望書を提出いただきました。</p>
相馬委員	<p>要望書の趣旨は、角山小中学校が統合計画の対象校になって以来、地域では話し合いを続けた結果、角山小中学校存続協議会を立ち上げて活動してきたところであるが、生徒の急激な減少により、学級数、教員数も減り、生徒や保護者の間に不安が広まってきたことから、保護者間及び存続協議会で協議し、角山中中学校については統合やむなしの結論に至ったというものであります。</p>
長谷川委員長 郷委員	<p>要望書を受けて、教育委員会では５月２２日午後８時より角山小中学校で、保護者、自治会関係者との懇談会を開催し、地域の方々から直接お考えをお聞かせいただいたところですが、今後学校を含め地元と具体的な協議を進める中で、速やかな統合に向けて準備を進めてまいりたいと考えております。</p>
園部学校教育 支援室参事	<p>なお、角山小中学校の児童生徒数及び学級数の平成３０年度までの推計は資料のとおりです。以上で説明を終わります。</p>
相馬委員 園部学校教育 支援室参事	<p>ただいま報告のありました角山中学校の統廃合について、質問等がございましたらお受けします。</p>
相馬委員 上野委員	<p>角山中学校の方とか自治会の方の意見を尊重しようっていうことで、以前は私たちは統廃合を無理に進めませんでしたよね。今回は統合の希望ということで、子どもたちのためにも、地元の皆さま方の意見を尊重し、ご希望に沿って粛々と進めていってほしいと思います。</p>
長谷川委員長	<p>ほかにございませんか。 今年度の生徒数はそれぞれ９人、１３人いるんですけども、世帯数はわかりますか。平成２３年度は、角山地区で１２７世帯、３０４人となっております。</p>
小林生涯学習 課長	<p>角山小中学校は地元の方が多いんですか。 中学校につきましては、本年度、３年生６名のうち４名が区域外からの通学者です。２年生３名のうち１名が区域外からの通学者です。小学生については全員区域内です。</p>
長谷川委員長	<p>分かりました。 当初この話が出た時は、相当抵抗をしてあの手この手を使いながら存続させようということに頑張っていた感があったんですが、ここにきて変わってしまったと。先ほどもご説明されましたが、マイナスにならないで逆にプラスになるような形の方で進んでいけばという感じがいたします。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
小林生涯学習 課長	<p>次に、報告事項（４）平成２３年度財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告についての報告を求めます。小林生涯学習課長お願いします。</p>
小林生涯学習 課長	<p>報告事項（４）平成２３年度財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告につきましてご説明申し上げます。</p>
小林生涯学習 課長	<p>この書類につきましては、５月１８日に開催されました財団理事会並びに評議員会において承認されたものであります。その概要につきましてご説明申し上げます。</p>
小林生涯学習 課長	<p>当財団の事業の状況及び処務の概要につきましては、第２０期事業報告書の１ページから３ページに記載されておりますので、ご参照いただきたいと思います。</p>
小林生涯学習 課長	<p>次に、４ページをお開き願います。第３の計算書類等に関する事項の１、平成２３年度収支計算書についてであります。収入の部では、１の基本財産運用収入の決算額１万２、０００円は、基本財産３、０００万円の預金利息収入であります。２の事業収入のうち、補助事業収入３７０万１、０００円は、スポーツ大会参加料や健康づくり・体力づくりの受講料などであり。受託事業収入の１、３１９万５、５５０円は、屋外体育施設等の</p>

小林生涯学習課長	<p>管理運営に関する収入であります。指定管理事業収入2億2,612万3,222円は、市民体育館をはじめとする体育施設指定管理料、スポーツ教室受講料、体育施設の利用料金等でございます。自主事業収入4万4,300円は、自主事業開催に伴う参加料でございます。3の補助金収入3,982万9,000円は、スポーツ大会等の事業運営に関する補助金であります。4の雑収入は、預金利息及び自動販売機設置手数料等であります。この結果、当期収入合計額は2億8,656万7,739円であり、前期繰越収支差額を合わせた収入合計は、2億9,738万3,696円となるものであります。</p>
長谷川委員長	<p>次に、5ページをご覧ください。Ⅱ支出の部であります。1の補助事業費の決算額4,380万9,442円は、スポーツ大会開催事業費、健康体力づくり指導相談事業費、スポーツ指導者養成事業費とこれらの事業の管理運営に要した経費であります。</p>
郷委員	<p>次に、6ページをお開き願います。2の受託事業費1,299万4,707円は、屋外体育施設の管理運営等に要した経費であります。3の指定管理事業費2億2,340万8,429円は、屋内体育施設管理運営費、大麻集会所管理運営費、都市公園（屋外体育施設）管理運営費と、これらの事業の管理運営に要した経費であります。4の自主事業費20万8,526円は、自主事業に要した経費であります。5の借入金返済支出492万円は、労働災害事故に係る損害賠償金の支払いに伴う借入金の当期返済額であります。6の特定預金支出400万円は、財政調整引当預金として支出したものであり、当期支出合計は2億8,934万1,104円であります。この結果、当期収支差額はマイナス277万3,365円となり、前期繰越収支差額を含めた次期繰越収支差額は804万2,592円となるものであります。</p>
小林生涯学習課長	<p>7ページの収支計算書に対する注記から12ページの監査報告書まで、それぞれ記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと存じます。以上でございます。</p>
郷委員	<p>ただいま報告のありました平成23年度財団法人江別市スポーツ振興財団の決算に関する報告について、質問等がございましたらお受けします。</p>
小林生涯学習課長	<p>初歩的なことで申し訳ありませんが、評議委員というのはどういったことをされる方たちですか。いろいろな職業の方がいるようですが。</p>
郷委員	<p>理事会と評議委員会を同時に開催してはいますが、決定権は理事会にございましてそれに対する同様の事業報告等々に関して意見等を述べる方々でございます。</p>
小林生涯学習課長	<p>何回ぐらい会議をするんですか。</p>
郷委員	<p>会議の開催回数につきましては、2ページに記載のとおりですけれども、昨年度においては2回実施しています。</p>
長谷川委員長	<p>ありがとうございます。</p>
相馬委員	<p>ほかにございませんか。</p>
小林生涯学習課長	<p>以前に言った記憶もあるんですが、今度料金改定で料金は上がるんですよ。</p>
相馬委員	<p>市全体の使用料・手数料の見直しということで、市民体育館等々のスポーツ施設の料金改定も3月議会で決定しまして、早いものでは10月1日から、またここには出ておりませんが、屋外体育施設であるパークゴルフ場、キャンプ場につきましては来年度から実施となる予定であります。</p>
小林生涯学習課長	<p>そうすると、10月から一部変わるということですね。収入源が多くなるということですよ。</p>
相馬委員	<p>今回、体育館に関しましては、一般料金の値上げ、高齢者の一般料金の値下げ、それから小中学生の体力増進のための値下げがあり、平成21年度の利用者数でシミュレーションしました結果、若干増を見込んでいますが、大幅増というものではありません。</p>
小林生涯学習課長	<p>上げたり下げたりするのはあまり好きではないので、前にも言ってしまったんですけども、料金が上がることによって、収入源があるとまた新たな事業ができるということになりますよね。収入を確保するという事は、新たな事業もできるし、そういうふうを考えればいいですか。</p>
相馬委員	<p>一応利用料金制を取っておりますので、利用増となればそういうこともありますが、この改定に当たってはどうなるか分からないということもありまして、財団ともどのくらいの利益でどうするかという協議をしていかなければならないと思っています。しかし、基本的には公益事業を行っている財団でありますので、それらは自主事業等々で還元されていくものだと考えております。</p>
相馬委員	<p>財団にはいろいろな素敵なメニューがたくさんありますよね。私も申し込みたいぐらい</p>

相馬委員 小林生涯学習課長	<p>です。コナミよりも豊富なメニューがあるので、そういうところにも反映できればいいかなと思っていますが、メニューなんかも変わるのですか。</p> <p>人気のあるものを毎年取捨選択しながら、対象等も含めて検討しているようです。最近ではフラダンス教室をやったり、それをさらに発表会につなげていきたいというようなメニューを考えているようでございますけれども、いずれにしてもどちらかという働いている男性のほうが少ないのが現状でございます、その方々をどのように取り込めるのか検討していると聞きしております。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
木村総務課長	<p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>平成24年議案第20号江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則の一部を改正する規則の制定についての説明を求めます。木村総務課長お願いします。</p> <p>平成24年議案第20号江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則の一部を改正する規則の制定についてをご説明いたします。</p> <p>この幼稚園就園奨励費補助金交付規則は、幼児教育の振興を目的とし、私立幼稚園の設置者が保育料及び入園料を減免した場合に補助金を交付する制度として、必要な事項を定めているものであります。交付する補助金額は、文部科学省が定めております幼稚園就園奨励費補助金交付要綱にある国庫補助限度額に準じ、所得階層区分や就園する子どもの数などに応じて規定しているところでございます。</p>
長谷川委員長	<p>配布しております資料は1ページから6ページまでありますが、1ページは改正理由を、2ページ、3ページは一部改正規則の本文、4ページ、5ページは改正を行う別表の新旧対照表、6ページは平成23年度と平成24年度の階層区分と補助額の比較表となっております。</p> <p>初めに1ページをご覧ください。本件規則の改正理由であります、文部科学省が定める平成24年度の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正内容が5月1日付で通知されましたことから、その改正に準じ本市教育委員会規則の改正を行うものでございます。それでは改正内容についてご説明します。資料4ページ及び5ページをご覧ください。改正する内容は、別表第1及び別表第2におけます階層区分の市民税所得割課税額の一部変更と、階層区分ごとの補助額の増額でございまして、改正箇所はアンダーラインで示しております。</p> <p>続きまして、資料6ページをご覧ください。初めに、階層区分の市民税所得割課税額の一部変更についてご説明いたします。階層区分の上から4番目と5番目の額について、3万4,500円が7万7,100円へ、18万3,000円が21万1,200円へ変更になっております。これは、税制改正により今年度から住民税の年少扶養控除が廃止となりましたが、従来の年少扶養控除が適用されていた場合を考慮し、補助金交付に影響を及ぼさないように、つまりなるべく昨年度と同等の階層区分に入る可能性が高くなるように、市民税所得割課税額を引き上げることで、補助金を決定するものでございます。</p> <p>次に、階層区分ごとの補助額の増額についてご説明いたします。昨年の実績で最多区分となっておりました従来条件の第1子について、今次改定の代表例としてご説明いたしますと、市民税所得割課税額が7万7,100円を超え21万1,200円以下の世帯の補助額ですが、第1子の場合4万6,800円が4万9,800円へ3,000円増額されております。他の区分におきましても、同様に2,000円ないし3,000円増額されております。国から示されております資料によりますと、この増額の理由は保護者負担の軽減を図るとのこととされております。なお、この規則は公布の日から施行し、改正後の江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則の規定は、平成24年4月1日から適用するものでございます。以上です。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成24年議案第20号江別市私立幼稚園の就園奨励費に対する補助金交付規則の一部を改正する規則の制定についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成24年議案第21号江別市奨学審議委員会委員の補欠委員の委嘱についての</p>

長谷川委員長 伊藤学校教育課長	<p>説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p> <p>議案第 2 1 号江別市奨学審議委員会の補欠委員の委嘱についてであります。奨学審議委員は平成 2 3 年 5 月 2 7 日から 2 年間の任期で委嘱しておりますが、4 月 1 日付け人事異動等によりまして欠員を生じたことから、補欠委員について選考を進めておりましたところ、1 ページの 1 の補欠委員候補者に記載のとおり、校長会から推薦を受けた厚海嘉孝委員で江別第二中学校長、川向康文委員で野幌中学校長の 2 名を新たに委嘱するものであります。</p> <p>2 の任期につきましては、本日から前任者の残任期間であります平成 2 5 年 5 月 2 6 日まででございます。</p> <p>3 の委員名簿につきましては、新委員を含めた委員の名簿を 2 ページに記載しております。以上、ご審議のほどよろしくお願いします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成 2 4 年議案第 2 1 号江別市奨学審議委員会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成 2 4 年議案第 2 2 号江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p>
伊藤学校教育課長	<p>議案第 2 2 号江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の補欠委員の委嘱についてであります。審議委員は平成 2 3 年 6 月 1 4 日から 2 年間の任期で委嘱しておりますが、4 月 1 日付け人事異動等によりまして欠員を生じたことから、補欠委員について選考を進めておりましたところ、1 ページの 1 の補欠委員候補者に記載のとおり、父母と先生の会から推薦を受けた吉川千紀子委員、これは大麻泉小学校の P T A 会長です。それと、校長会から推薦を受けた青山波留樹委員、これは江別第三小学校長ですが 2 名に新たに委嘱するものであります。</p> <p>2 の補欠委員の任期につきましては、本日から前任者の残任期間であります平成 2 5 年 6 月 1 3 日まででございます。</p> <p>3 の委員名簿につきましては、新委員を含めた委員の名簿を 2 ページに記載しております。以上、ご審議のほどよろしくお願いします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成 2 4 年議案第 2 2 号江別市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成 2 4 年議案第 2 3 号江別市就学指導委員会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。西田参事お願いします。</p>
西田学校教育支援室参事	<p>議案第 2 3 号江別市就学指導委員会委員の補欠委員の委嘱について説明いたします。</p> <p>就学指導委員は平成 2 3 年 6 月 1 日から 2 年間の任期で委嘱しておりますが、4 月 1 日付け人事異動によりまして欠員が生じたことから、補欠委員の選考を進めてきたところであり、このたび、議案に記載したように 5 名の補欠委員を委嘱することとしたいので、よろしくご審議の上ご承認をお願いいたします。</p> <p>なお、委員の任期につきましては、5 月 2 5 日から前任者の残任期間であります平成 2 5 年 5 月 3 1 日までとしておりまして、今回の変更後の新しい就学指導委員会の名簿は裏面に記載のとおりです。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成 2 4 年議案第 2 3 号江別市就学指導委員会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成 2 4 年議案第 2 4 号江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱についての説明を</p>

長谷川委員長 小林生涯学習 課長	<p>求めます。小林生涯学習課長お願いします。</p> <p>議案第24号江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。江別市社会教育委員につきましては、社会教育法第15条第2項及び江別市社会教育委員の定数及び任期に関する条例第2条の規定に基づきまして、10名の委員を委嘱いたしております。このたび、4月1日の人事異動に伴い1名の欠員が生じたため、その補充のための選考事務を進めており、江別市小中学校長会から千葉祐一先生の推薦がありましたので、ご審議をお願い申し上げます。委員の任期につきましては、残任期間としてご承認をいただく本日から、平成24年7月31日までの期間であります。改選後の委員の名簿につきましては、2ページに記載のとおりでございます。</p>
長谷川委員長	<p>申し訳ありませんが、資料の2ページの任期で平成24年5月25日からとなっておりますが、平成22年8月1日に訂正をお願いいたします。任期は2年間ですのでよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし)</p> <p>それでは、平成24年議案第24号江別市社会教育委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承)</p>
小林生涯学習 課長	<p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成24年議案第25号江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。小林生涯学習課長お願いします。</p>
長谷川委員長	<p>議案第25号江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。江別市スポーツ推進審議会委員につきましては、江別市スポーツ推進審議会条例第3条の規定に基づき、11名の委員を委嘱いたしております。このたび、4月1日の人事異動に伴い3名の欠員が生じたことから、その補充のための選考事務を進めており、1の補欠委員候補者に記載のとおり、江別市小中学校長会、江別市中学校体育連盟、関係行政機関の職員から推薦がありましたので、ご審議をお願い申し上げます。委員の任期につきましては、残任期間としてご承認をいただく本日から、平成25年5月31日までの期間であります。</p>
小林生涯学習 課長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし)</p> <p>それでは、平成24年議案第25号江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
長谷川委員長 小林生涯学習 課長	<p>次に、平成24年議案第26号江別市一般会計補正予算(第1号)についての説明を求めます。小林生涯学習課長お願いします。</p> <p>議案第26号江別市一般会計補正予算についてご説明いたします。第2回定例会に提出を予定しております補正予算の概要でございます。10款4項社会教育費の事業名、芸術鑑賞招へい事業です。これは江別楽友協会が平成24年度に計画している4事業のうち、結成30周年の歴史を持つ上海カルテットを招へいし、クラシック音楽の素晴らしさを身近に感じることができるよう財団法人自治総合センターの地域の芸術環境づくり助成事業を申請した結果、補助が決定したことから200万円の増額補正をしようとするものでございます。以上です。</p>
相馬委員 小林生涯学習 課長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>補足説明させていただきますが、4事業のうち、いつも市からの補助事業で行っておりますニューイヤークンサートという事業でございますけれども、楽友協会が努力してそのまま年明けに実施するという事で計画は変わっておりません。市からいつも支出している100万円分を上海カルテットに補助して実施していただくということです。通常100万円を補助している団体でしたが、自治総合センターの200万円の助成が決まりましたので、合計300万円を楽友協会に増額して補助するものでございます。</p> <p>ニューイヤークンサートに100万円で、それ以外に200万円ですか。</p> <p>例年、ニューイヤークンサートを中心に100万円補助していたものでございますけれども、今回上海カルテットの事業にその100万円を使用することにして、従来やってい</p>

<p>小林生涯学習課長 郷委員 佐藤教育部長</p>	<p>るニューイヤーコンサートにつきましては、団体の努力によって、多少額の変動はございますけれども、実施するというので報告を受けています。</p>
<p>郷委員 小林生涯学習課長 相馬委員 小林生涯学習課長 上野委員</p>	<p>ニューイヤーコンサートが上海カルテットになるわけではないですよ。説明が遠回しになって申し訳ありませんが、要するに当初予算でニューイヤーコンサートに100万円の補助があったところ、ニューイヤーコンサートへの助成は止めて、この100万円を新たに補助が決まった200万円に加えて300万円をもって、この事業に補助しようとするものでございます。</p>
<p>小林生涯学習課長</p>	<p>ニューイヤーコンサートはどうしちゃうんですか。 ニューイヤーコンサートにつきましては、旅費のかからない方を探したり、特別なスポンサー等をこれから探して、従前どおり実施したいということで話を聞いています。</p>
<p>郷委員 小林生涯学習課長 郷委員 小林生涯学習課長 相馬委員</p>	<p>これは全部、楽友協会に対する補助ですか。 この上海カルテットにつきましては、楽友協会がほとんどのメンバーですが、市も加わった実行委員会形式で実施するものでございます。 私は、あまりクラシックが分からないんですが、上海カルテット&原田禎夫というのは300万円の値になる方なのか分からないので聞いてみました。 上海カルテットというメンバーは、名前の通り上海を中心とするリー兄弟2人のほか、2人が加わった団体でございまして、世界的に活躍している団体でございます。この方々を招へいして、市民の方々に低廉な料金でということで補助申請をしていたところ、その補助が受けられるということで、1,000円ほどの入場料で聴けるということです。また、そのほか地域への還元ということがございますので、小中学生とか高齢者の方を中心とした無料招待ということも、今団体と協議して計画しているところでございます。 いつ開催されるんですか。 10月下旬ということで予定しております。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>何かPRとか考えているんですか。 宝くじのマークを付けて宣伝していただいておりますので、広報誌は当然のことながら、ポスターとチラシ等々の配布を予定しているところでございます。</p>
<p>木村総務課長</p>	<p>今回の200万円という金額は大きい金額なのかもしれませんが、こういった形で助成されるということで今教育部長からも詳しい説明があったので私はよく理解できました。 それでは、平成24年議案第26号江別市一般会計補正予算（第1号）についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>続いて、3のその他に入りますが、何かございますか。 その他ということで、ご報告させていただきたいと思っております。現在、江別市都市計画審議会委員に就任されております相馬委員の任期が6月5日で満了することから、後任として引き続き相馬委員を推薦しております。以上であります。</p>
<p>木村総務課長</p>	<p>ただいま報告のありましたとおり、本件については、各委員のみなさんご承知置き願います。 それでは、次に、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として平成24年第2回市議会定例会の一般質問についてを予定しております。また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、6月29日金曜日午前9時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>みなさん、日程はよろしいですか。 (一同了承) では、次回の定例教育委員会は、6月29日金曜日午前9時30分からを予定いたします。以上をもちまして、第5回定例教育委員会を終了いたします。</p>
	<p>(閉会)</p>

終了 午後3時25分

署名人（委員長） 長谷川 清明

署 名 人 上野 聡志